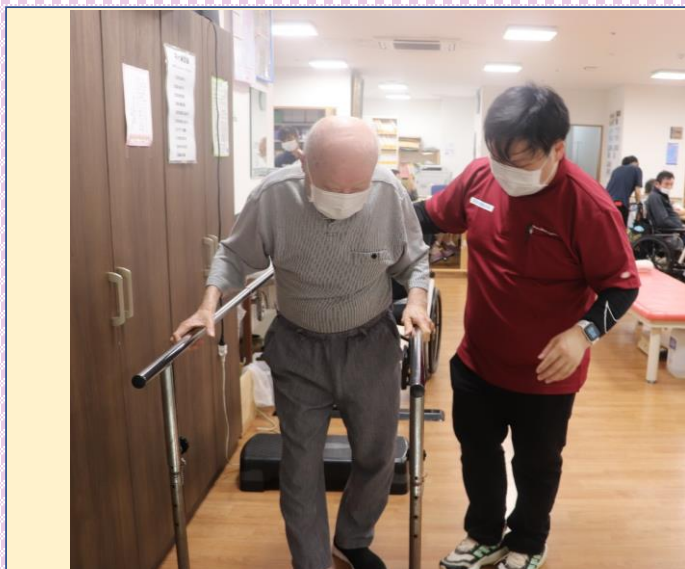




9月の主役A様

以前は釣りや登山、旅行が趣味でしたが奥様が施設に入所され、独居生活を送っていました。去年自宅で立てないことがあり、独居生活が難しくなったため7月よりサービス付き高齢者住宅に入居されました。

A様は「今は車椅子だけど、**また歩けるようになりたい**、そのために**しっかりとリハビリをしたい**」と言われリハビリに積極的でした。



初めに身体機能評価として立位保持と片足へ重心移動が可能か確かめました。結果、**立位保持、重心移動ともに可能**で、**平行棒内での歩行が可能**でした。この時課題として、**長い時間の歩行**と長期間車椅子での移動だったため**歩行への不安感**が見つかりました。



平行棒内での歩行が可能だった為、**歩行器を使用**してのリハビリを行いました。サービス付き高齢者住宅での使用を想定して、**広いフロアを安全に歩行できる**ことを目標にしてA様の心理状況を確認しながら進めていきました。

8月にはスシローへの外出ドライブに参加を希望され、そのための**狭い道の歩行訓練**を開始しました。サービス付き高齢者住宅でも広い通路から食事の席に着く際に**細かな動作**が必要のため、今後に必要な訓練でした。



狭いなあ



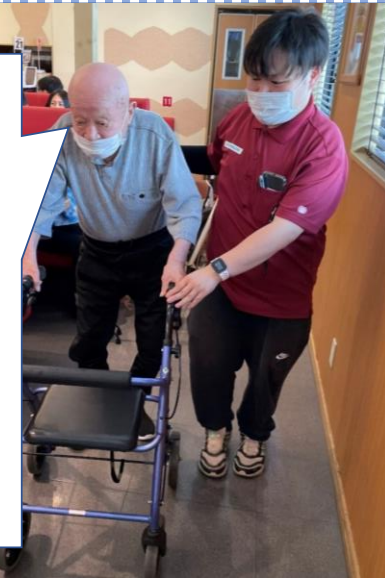
見守りや、介助ができない状況で、**歩行器を安全に使用する**為に**ブレーキの使い方、歩行器の安全な位置**など一緒に考え、確認しました。

リハビリの結果、歩行への**不安感**は少なくなり、**自信**がついてよりリハビリに積極的になりました。歩行距離も伸び、最初は**平行棒内を1往復**でしたが今では**休憩なしで、フロア内を2周**歩けるようになりました。
課題として**足元に視線が落ちる事、歩行中の前傾姿勢**がみられます。

外食ランチへでの様子



狭い道の練習してよかったわ!!



今回は独居からサービス付き高齢者住宅に移行された、車椅子の方のリハビリ訓練を紹介しました。アビリティ共生デイではご利用者様の望みや、ご要望をかなえられるように職員一同努力してまいります。